

Wizard® SV Gel and PCR Clean-Up System

INSTRUCTIONS FOR USE OF PRODUCTS A9280, A9281 AND A9282.

Quick
PROTOCOL

サンプル調製

ゲルスライスの溶解 (ゲルからのDNA断片精製の場合)

1. 標準的または低融点アガロースゲル (TAEまたはTBEバッファー使用) を用いた電気泳動。
2. 清潔なカミソリやメスで目的のバンドを切り取り、1.5ml 遠心チューブに入れる。
3. Membrane Binding Solution をゲルスライス10mgに対して10 μ l 添加し、ボルテックス (5kb以上のフラグメントの場合は転倒混和により混合)。
4. 50-65 °C で10分間またはゲルスライスが完全に溶解するまでインキュベート。

PCR産物 (PCR反応からのDNA断片精製の場合)

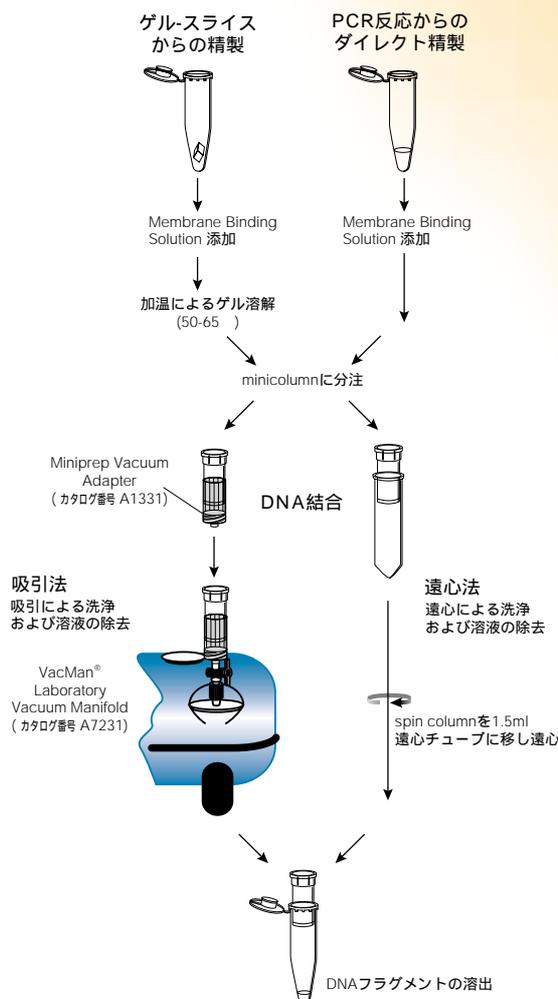
1. PCR反応液に等量のMembrane Binding Solution を添加。

遠心法プロトコル

1. Collection TubeにSV Minicolumnを挿入し、調製したゲル溶解液またはPCR産物を添加後、室温で1分間インキュベート。
2. SV Minicolumn assemblyを16,000 \times g、1分間遠心した後、SV Minicolumn を取り外し、Collection Tube内の液体を除去。SV Minicolumn は、Collection Tubeに再度挿入。
3. Membrane Wash Solution (95% エタノール添加済み) 700 μ l を添加し、SV Minicolumn assemblyを16,000 \times g、1分間遠心。Collection Tube中の液体を除去。
4. Membrane Wash Solution (95% エタノール添加済み) 500 μ l を再度添加し、16,000 \times g、5分間遠心。columnが濡れている場合、1分間の遠心操作を加える。
5. SV Minicolumn を新しい1.5ml 遠心チューブに移し、Nuclease-Free Water 50 μ l を添加。
6. 1分間、室温でインキュベートした後、16,000 \times g、1分間遠心。
7. SV Minicolumnを廃棄し、遠心チューブ内の溶出されたDNAは、4 または-20 °C で保存。

吸引法プロトコル

1. マニホールド上のポートに取り付けたLuer-Lock® に Vacuum Adapter を装着。SV MinicolumnをVacuum Adapterに挿入。
2. 調製したゲル溶解液またはPCR産物をSV Minicolumnに移し、室温で1分間インキュベート。溶液がSV Minicolumnを完全に通過するまで吸引。
3. Membrane Wash Solution (95% エタノール添加済み) 700 μ l をSV Minicolumnに添加し、液体がSV Minicolumnを通過するまで吸引。
4. Membrane Wash Solution (95% エタノール添加済み) 500 μ l を再度添加し、ステップ3と同様に洗浄。
5. 吸引源を止め、マニホールドの未使用ポートを開けて陰圧を開放。
6. SV Minicolumnをマニホールドから外し、Collection Tubeに移す。このSV Minicolumn assemblyを16,000 \times g、5分間遠心し、columnに残っているMembrane Wash Solutionを除去。
7. SV Minicolumnを1.5ml遠心チューブに移し、Nuclease-Free Water 50 μ l を添加。室温で1分間インキュベートした後、16,000 \times g、1分間遠心。
8. SV Minicolumnを廃棄し、遠心チューブ内の溶出されたDNAは、4 または-20 °C で保存。



Additional protocol information is available in Technical Bulletin #TB308, available upon request from Promega or online at www.promega.com

